

## 神戸市少年サッカー指導者 コーチングスクール終了

6月10日より、毎週月曜と木曜に夜6時30分～8時30分、実技は上野中学校。講義は王子登山研修所で、実技講義合計で35回70時間を修了し、11月2日・3日にはティーチングパターン（指導実習）とゲームを打ち上げとして（KFCBチームに対し5-1で完勝）11月10日修了式を行なった。

なお、指導者の資格取得者は22名、指導者ワッペンが交布された。

- 牛尾 守伸 (KFC)
- 石崎 博司 (KSS)
- 岡部 国雄 (KSS)
- 斎原彦三郎 (KSS)
- 三好 賢史 (KSS)
- 林 幸男 (成徳少年団)
- 定森 規明 (多聞台少年団)
- 西国 純広 (KFC)
- 坪井 正治 (友生養教員)
- 新聞 隆 (KFC)
- 山名 康久 (上野中教員)
- 幸田 卓己 (KFC)
- 仙波 彰 (KFC)
- 松岡 嘉彦 (YMCA)
- 木下 和則 (富士電機)
- 東島 敏彦 (富士電機)
- 宮本 亮 (KFC)
- 小西 利彦 (KFC)
- 岡 俊彦 (魚崎少年団)
- 田中 正敬
- 吉村 秀樹 (KFC)
- 加藤 寛 (KSS)



## 審判講習会

市協会審判委員会では、審判員の技術向上をばかる目的で講習会を行なった。

10月30日は3級審判員と3級昇格をめぐる4級審判員を、また11月8日は、4級審判員と新規に審判員登録された方を対象とした。10月30日は、約25名の方が日頃ホイッスルを吹いていて疑問に感じたことを、講師の一北四郎、佃幹夫両氏に質問する形をとり、11月8日は一北四郎氏からルール解説の講義があった。両日とも受講者は、講師の説明に熱心に耳を傾けていた。

なお、現在4級審判員で3級昇格を希望される方に、近く行われる教育リーグの試合を担当していただき、審判委員会が審判技術のアドバイスを与えるとともに、3級合格の可否を決定する。

また、来年度社会人リーグ登録チームは、1チームにつき3人以上の審判員登録を義務づける計画でいるが、この方々を対象とした講習会を来年3月ごろ開催する予定。

## 勝機つかめず一回戦で敗れる

### 茨城国体・高校チーム

10月20日から茨城県で行われた国体に参加した高校の兵庫県選抜チームは、惜しくも1回戦で福岡県チームに敗れた。選手の大半は神戸市関係（前号既報）で、高い個人技をもち、実力的には全国でもトップクラスとの前評判が高かったが、不運にもやや不本意な成績に終った。

しかし、りっぱに戦った選手諸君に拍手を送りたい。

同チームの監督をつとめた六甲高校の佃幹夫氏は、試合を振り返り次のように述べた。

福岡チームの強いあたりにペースをつかめないまま、時間は刻々と過ぎた。PKをはじめとする再三の得点チャンスをものに出来ず、あせりを見せる選手はミスを繰り返すばかり。いつもの力の半分をも発揮することが出来ずにタイムアップ。個人技や集団プレーの能力は、誰が判断しても、兵庫チームの方が勝っていたが、勝利の女神を引き寄せるることは出来なかつた。

試合に絶対に勝とうとする強い精神力と、それを養う環境の必要性を痛感した。たとえば、実力が接近した選抜チームを二つ作って競い合うとか、あるいは、8ないし10の単独チームが、タイトルをかけて常に勝負を頭に入れたサッカーが出来るような環境を築くことが、必要条件といえるのではないだろうか。

実力的には十分な技術、戦術をもっており、現に、全国のトップチームと戦つても、りっぱな試合ができるというすぐれた下地がある。各高校の指導者のもとで、選手が勝負強さを身につけるならば兵庫サッカーは必ずや大きく飛躍できると確信する。

## 兵庫県中学校サッカー選手権大会 神戸支部予選結果

### Aブロック

| 高倉         | 垂水         | 灘   | 得失差 | 勝点 | 順位 |
|------------|------------|-----|-----|----|----|
| 6 (3-0) 0  | 10 (5-0) 0 | +16 | 4   | 1  |    |
| 0 (0-3) 6  | 0 (0-0) 0  | -6  | 1   | 2  |    |
| 0 (0-5) 10 | 0 (0-0) 0  | -10 | 1   | 3  |    |

### Bブロック

| 鹿姫        | 六甲        | 灘川  | 得失差 | 勝点 | 順位 |
|-----------|-----------|-----|-----|----|----|
| 2 (1-1) 2 | 7 (3-0) 0 | +7  | 3   | 1  |    |
| 2 (1-2) 2 | 5 (2-0) 0 | +5  | 3   | 2  |    |
| 0 (0-3) 7 | 0 (0-2) 5 | -12 | 0   | 3  |    |

### Cブロック

| 上野        | 御影        | 魚崎 | 得失差 | 勝点 | 順位 |
|-----------|-----------|----|-----|----|----|
| 3 (3-1) 3 | 9 (2-1) 1 | +8 | 3   | 1  |    |
| 3 (2-0) 3 | 1 (0-1) 1 | +0 | 2   | 2  |    |
| 1 (1-2) 9 | 1 (1-0) 1 | -8 | 1   | 3  |    |

昭和49年12月1月発行

### Dブロック

| 布引             | 西神戸朝鮮          | 錦蘭台       | 得失差 | 勝点 | 順位 |
|----------------|----------------|-----------|-----|----|----|
|                | ○<br>7 (4-0) 0 | 5 (3-0) 1 | +11 | 4  | 1  |
| ○<br>0 (0-4) 7 |                | 5 (2-0) 2 | -4  | 2  | 2  |
| 1 (1-2) 5      | 2 (0-2) 5      |           | -7  | 0  | 3  |

### Eブロック

| 須佐野            | 垂水東            | 東神戸朝鮮    | 得失差 | 勝点 | 順位 |
|----------------|----------------|----------|-----|----|----|
|                | ○<br>4 (4-0) 1 | ☆<br>キケン | +3  | 4  | 1  |
| ●<br>1 (0-4) 4 |                | ☆<br>キケン | -3  | 2  | 2  |

### Fブロック

| 本山             | カネディアン         | 瀬川             | 歌敷山            | 得失差 | 勝点 | 順位 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|-----|----|----|
|                | ○<br>2 (1-1) 1 | ○<br>3 (2-0) 0 | ○<br>5 (4-0) 0 | +9  | 6  | 1  |
| ●<br>1 (0-1) 2 |                | △<br>2 (1-1) 2 | 2 (1-0) 1      | +0  | 3  | 2  |
| ○<br>0 (0-2) 3 | 2 (1-1) 2      |                | 2 (2-0) 0      | -1  | 3  | 3  |

### Gブロック

| 本庄               | 神大附              | 丸山              | 得失差 | 勝点 | 順位 |
|------------------|------------------|-----------------|-----|----|----|
|                  | ○<br>14 (10-0) 0 | ○<br>12 (7-0) 0 | +26 | 4  | 1  |
| ●<br>0 (0-10) 14 |                  | ○<br>6 (2-0) 0  | -8  | 2  | 2  |
| ○<br>0 (0-7) 12  | 0 (0-2) 6        |                 | -18 | 0  | 3  |

## スポーツ少年団秋季リーグ

### 兵庫少年大会神戸予選

昭和49年度神戸市スポーツ少年団秋季リーグは、第7回兵庫少年サッカー大会の出場権をかけて9月22日～11月4まで御崎少年サッカー場で3部（小6男子）、7部（小女子）が行われた。

11月4日、決勝戦を待っていたかのように天気は快晴。勝ち抜いて来たのはAグループ東灘、Cグループ神戸FCの両チーム。ライバル同士だけに試合前から異常な雰囲気がグラウンドをおおう。予想どおり熱の入った戦いが展開された。キックオフから攻めるのだが仲々シュートに結びつかない。5分過ぎから東灘がペースをとり激しくゴールを襲うが、GK橋本の好守によりゴールを割れない。15分、FCは見事な速攻から藤本が先取点をあげる。東灘はやや押し気味ながら点がとれず、FCリードで前半終了。後半5分、東灘はPKを田中が決め完全にペースを握った。ゴール前にロビングをあげ、ヘディングに強い特長をうまく生かし、連続3ゴールをあげ勝利を決定づけた。

#### ◆天皇杯準決勝 神戸開催は中止

12月28日、神戸中央球技場で開かれる予定の天皇杯準決勝は、日本サッカー協会の都合で中止となった。尚12月15日の中央大会4回戦は予定通り行われる。

昭和49年12月1日発行

## ドイツ菓子

## Jazzin's ユーハイム

## 月刊

## 神戸のサッカー 神戸市サッカー協会ニュース

## 「神戸のユースを育てよう」

理事長 加藤 正信

先日の茨城国体高校の部で兵庫の選抜チームが福岡に4-0で敗れた。つきそつた監督の話では技倅の差はわずかだった由だが、神戸の少年サッカー指導者のショックは大きかった。

少年サッカーから出なおすとしてサッカー王国を復活させようと兵庫サッカー友の会が昭和38年12月にスタートしてからこのかた10年間、神戸の少年サッカー関係者は文字どおり寝食を忘れて少年サッカーの育成に努力した。昭和42年、広島・神戸の中学代表チームの定期戦が生まれ私たちには「広島に追いつき追い越せ」と歎をくいしばって頑張った。

今年9月23日、神戸中央球技場に広島を迎えての定期戦では3-0で完勝。やうと広島に追いついた。この夏、西日本各地から強烈を迎えて開催した第四回ジュニアサッカーサマーフェスティバルでも神戸の小6～中3代表チームは静岡県勢を除く他の地区にはほぼ負けないだけの実力をつけてきた。私たちはこの勢いを高校生年令にも延ばしたい。

四年

前

亡くなつた

福原黎三氏は

小6の先生が自分のチームの強化ばかりを考えるのでなく、地域全体のレベル向上の必要性を説いて「広島サッカー教室」を開設した。福原氏の死の直前、病

室を訪れた私に、小中高の指導者の気持

がやつと一丸となって前向きの姿勢がで

きたことを喜び話していたのを感じ深くおもいだす。

神戸市協会は47年2月設立時に福原氏と同じ願いをこめて、小中高をひとつにした青少年委員会を発足させたが、残念ながらその歩みは予定通りとはいえない。先日来市の高校連盟では、月一回優秀選手を集めて強化練習を行う予定を立て10月第一回の教室を開いた。選ばれた選手自身の意気込はもちろんだが、学校の先生・チームメート・父兄の理解と応援がなければ成果は挙らない。皆さん暖かい声援をお願いしたい。

神戸FCでは将来ボートアイランドに本拠地を持ち、少年から老人までサッカーの楽しめる組織と施設の完成に邁進している。今日まで少年のスクール運営と平行して小4～中3のジュニアエリート

を育成し相当の成果をおさめてきたが、来年3月から更に15歳以上のコースも育成する方針を決めた。とりえずジュニア

チーム出身者20名を対象として毎週5

日、サッカーの技術のみならず体力トレ

ーニングも行う。高体連の優秀選手強化

と神戸FCのユース育成策がいい

## レクリエーションリーグ

市リーグに加盟していないチームでも、あるいは個人でも自由に参加できるとあって、関係者の間に評判の高いレクリエーションリーグは、今年で3回目を迎えた。

昨年までのユースリーグとO Bリーグを統合してレクリエーションリーグとなつたが、名称からしていかにも親しみやすいこの大会に多くのチームが参加した。7月20日から10月6日までの長期間にわたって、中央球技場および御崎サブグラウンドを使用して行われた。また、これらの試合は、4級審判員が担当し、審判技術向上を同時にねらった。

レクリエーションを終了して、運営委員長の西林恵三氏は次のような感想を述べた。

酷暑の中、ナイター設備をフルに活用し、選手は十分サッカーを楽しみ満足していたように思う。

### 第1部

選手の年令差があまりにも大きく、試合の興味がやや薄かった。来年度は50才以上の部を新設してはどうか。

### 第2部

各チームとも、メンバー不足のため、他チームから登録外の選手の応援を求めていたが、ぜひ登録選手でチームを作つてほしい。これらのチームの選手は、市協会の中心的存在の年代層があるので、その模範を示してもらいたい。

### 第3部

相当な実力をもったチームがあり、来年度からは市社会人リーグに加盟することを勧めたい。

### 第4部

訓練校を主体に会社で体育の正課として参加したチームもあった。このような職場を中心とした訓練校のみのリーグ戦であつてもよいと考える。働きながら学んでいる若者のためのリーグ戦が盛んになることを望む。

第1部 KSS PTA 3-1 KFC

第2部

訓練校を主体に会社で体育の正課として参加したチームもあった。このような職場を中心とした訓練校のみのリーグ戦であつてもよいと考える。働きながら学んでいる若者のためのリーグ戦が盛んになることを望む。

### 第3部

|       | KUE | 県 | 府 | 兵庫 | 市 | TIS | 賞金 | 勝点 | 得点 | 失点 | 順位 |
|-------|-----|---|---|----|---|-----|----|----|----|----|----|
| ヨーライク | ○   | ○ | ○ | ○  | ○ | ○   | ○  | 2  | 7  | 11 | 5  |
| KUEC  | ○   | ○ | ○ | ○  | ○ | ○   | ○  | 8  | 9  | 5  | 2  |
| 県     | ○   | ○ | ○ | ○  | ○ | ○   | ○  | 11 | 13 | 4  |    |
| ヨントスク | ○   | ○ | ○ | ○  | ○ | ○   | ○  | 10 | 17 | 1  | 1  |
| TIS   | ○   | ○ | ○ | ○  | ○ | ○   | ○  | 0  | 4  | 19 | 6  |
| 日野鐵   | ○   | ○ | ○ | ○  | ○ | ○   | ○  | 6  | 8  | 7  | 3  |

### 第4部

|       | KFC | 高士電 | 高士電 | 山田S | 勝点 | 得点 | 失点 | 順位 |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| ピートルズ | ○   | ○   | ○   | ○   | 8  | 18 | 0  | 1  |
| KFC   | ○   | ○   | ○   | ○   | 4  | 12 | 5  | 2% |
| 高士電A  | ○   | ○   | ○   | ○   | 4  | 13 | 6  | 3% |
| 高士電B  | ○   | ○   | ○   | ○   | 0  | 1  | 25 | 5  |
| 山田SC  | ○   | ○   | ○   | ○   | 4  | 8  | 16 | 4% |

## 川鉄、KFCを降し優勝

### 第23回神戸市総合体育大会

予選を勝ち抜いた区代表9チームが、10月6, 10, 12, 13日の4日間にわたり熱戦を繰り広げた。

2回戦で、2部リーグの川重西神戸および須磨クラブが、それぞれ1部リーグの強豪教員団と川崎重工を破った。準決勝では、川崎製鉄と神戸FCが、1部リーグの名譽にかけて、川重西神戸および須磨クラブを大差で降し、決勝に進んだ。

現在、神戸市にあって実力1, 2位をほこる両チームが激突し、立ち上がりから見ごたえのある攻防が続き、決勝戦にふさわしい試合展開となつた。しかし、得点のほとんどは、意外にも相手ミスによって生まれ、結局、川崎製鉄が王座についた。

川鉄 3 (2-1) 2 KFC

### 決勝戦メンバー

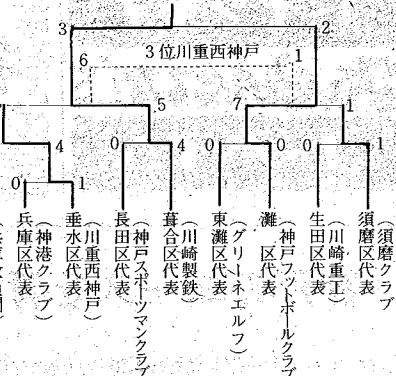
川崎製鉄 神戸FC・A  
GK 太田 忠  
FB 中本 秀雄  
原田 吉伸  
大田 博文  
間 靖宏  
HB 竹上 敦典  
中本 正一  
水野 正行  
FW 三浦智恵喜  
上田 忠篤  
隅田 義治

神戸FC  
GK 伊佐治照幸  
FB 碓井 俊晴  
大竹 輝雄  
黒田 和生  
斎藤 長郎  
HB 幸田 卓巳  
中本 加藤 寛  
松山 賢一  
FW 吉村 徹  
新開 隆  
藤田 章一

交代 G K 森 腊夫  
B K 小山 茂数  
F W 川崎 修  
F W 西野 一幸  
F W 岩見 幸義

交代 G K 三浦 耕一  
B K 牛尾 守伸  
F W 河野 彰夫  
F W 塚本 一雄  
F W 中山 和佳男

### 第23回総合体育大会 優勝川崎製鉄



### 「神戸のサッカー」配布について

私たちは、昭和47年2月協会設立以来今日迄、資金難・人手不足を克服して、協会機関誌「神戸のサッカー」を21回発行して参りました。

私たちの信条は、

- ①サッカーの情報を提供する
- ②仲間が手を結びあう
- ③青少年のサッカーを育成する

④市民のサッカー熱を高める

ことに協力し、最終的には、「サッカー王国神戸・兵庫」の復活を夢みております。

今後は、紙面の内容を更に充実し目的達成に努力したいと思いますので、次のことにご協力たまわりたくお願い申し上げます。

- ①1人でも多くのサッカー爱好者にこのニュースを見ていただきたい。
- ②皆さんからニュースの材料を提供していただきたい。

原稿送付先  
〒652 神戸市兵庫区東山町3-2  
川崎重工東山寮 上野勝幸

### 編集委員会

市協会では11月11日、常務理事会を開き、総務委員会付として編集委員会を再編成した。委員構成は下記の通り。

編集委員長  
辻 豊  
副委員長  
上野 勝幸  
副委員長  
橋本 博之  
委員  
牛尾 守伸  
委員  
四郎  
中村 寿男  
委員  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎  
中村 寿男  
加藤 寛

辻 豊  
上野 勝幸  
橋本 博之  
牛尾 守伸  
四郎